

- ・近畿農政局ホームページ <https://www.maff.go.jp/kinki/>
- ・近畿農政局フォトレポート <https://www.maff.go.jp/kinki/photo/index.html>
- ・広報誌新鮮mini情報 <https://www.maff.go.jp/kinki/pr/magazine/mini/index.html>
- ・農林水産省Facebook <https://www.facebook.com/maffjapan>
- ・農林水産省広報誌 a f f <https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/index.html>

◆目次◆

1. 農政の動き

- ◆食料・農業・農村政策審議会 基本法検証部会の開催について
- ◆令和4年産米の契約・販売状況、民間在庫の推移、事前契約数量及び米穀販売事業者における販売数量・販売価格の動向について（令和4年10月末現在）
- ◆野菜の入荷量と価格の見通し（令和4年12月）
- ◆「てまえどり」が今年の新語・流行語大賞トップ10に選出されました！
- ◆インバウンド消費の回復に向けて、新たに4地域を農泊食文化海外発信地域（SAVOR JAPAN）に認定
- ◆輸出促進法に基づき3団体を認定品目団体（農林水産物・食品輸出促進団体）として認定
- ◆近畿農政局管内の野生鳥獣による農作物被害状況について（令和3年度）
- ◆令和4年度（2022年度）「南極海鯨類資源調査」を実施します

2. お知らせ

<表彰>

- ◆「第6回インフラメンテナンス大賞」の受賞者を決定しました

<募集・案内>

- ◆令和4年度「和食オンラインセミナー」の開催及び参加者の募集について
- ◆「グリーンな栽培体系シンポジウム」の開催について
- ◆寒い時期に栄養たっぷりの牛乳料理を食べませんか？
- ◆「おいしい食べきり」全国共同キャンペーン開始
- ◆EPA（経済連携協定）を利用するための原産地証明書が取得しやすくなりました！

3. フォトレポート

- ◆近畿農政局管内で頑張る生産者・事業者の方々の紹介、近畿農政局のニュースなどをホームページで写真により紹介しています

4. BUZZMAFF（ばずまふ）

- ◆職員自らが、農林水産物の良さや農林水産業、農山漁村の魅力を発信するプロジェクトです。

5. 統計情報

- ◆作物統計調査 令和4年産びわ、おうとう、うめの結果樹面積、収穫量及び出荷量
- ◆作物統計調査 令和4年産うめの結果樹面積、収穫量及び出荷量（和歌山県、奈良県）

1. 農政の動き

- ◆食料・農業・農村政策審議会 基本法検証部会の開催について

12月9日（金曜日）に食料・農業・農村政策審議会 基本法検証部会第5回が開催されました。
今回の部会資料及び議事の概要等は、次のURLページで公開することとしております。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/kensho/index.html>

- ◆令和4年産米の契約・販売状況、民間在庫の推移、事前契約数量及び米穀販売事業者に

おける販売数量・販売価格の動向について（令和4年10月末現在）

令和4年産米の「産地別契約・販売状況（令和4年10月末）」、「民間在庫の推移（令和4年10月末）」、「事前契約数量（令和4年10月末）」及び「米穀販売事業者における販売数量・販売価格の動向（令和4年10月末）」について取りまとめました。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）
<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kikaku/221129.html>

◆野菜の入荷量と価格の見通し（令和4年12月）

大阪市中心卸売市場に入荷する主要野菜についての入荷量と卸売価格の見通しを公表しました。

詳しくはこちら（近畿農政局ホームページ）
<https://www.maff.go.jp/kinki/seisan/engeitokusan/yasai/kakaku.html>

◆「てまえどり」が今年の新語・流行語大賞トップ10に選出されました！

食品ロス削減につながる行動「てまえどり」が、今年の「現代用語の基礎知識選ユーキャン新語・流行語大賞」トップ10に選出されました。今後も農林水産省は、消費者・事業者・地方公共団体等の皆様と連携し、食品ロス削減に向けて「てまえどり」を推進してまいります。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）
<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/recycle/221201.html>

◆インバウンド消費の回復に向けて、新たに4地域を農泊食文化海外発信地域（SAVOR JAPAN）に認定

インバウンド需要を農山漁村に呼び込むことを目的に創設した「農泊 食文化海外発信地域（SAVOR JAPAN（セイバージャパン））」について、今年度は新たに4地域を認定しました。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）
<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/wasyoku/221202.html>

◆輸出促進法に基づき3団体を認定品目団体（農林水産物・食品輸出促進団体）として認定

12月5日（月曜日）に、「一般社団法人 全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会」、「一般社団法人 全国花き輸出拡大協議会」及び「一般社団法人 日本青果物輸出促進協議会」を、農林水産物及び食品の輸出の促進に関する法律（輸出促進法）に基づき、認定農林水産物・食品輸出促進団体（いわゆる品目団体）として、認定しました。農産物の団体としては初の認定となります。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）
http://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/kikaku/221205.html

◆近畿農政局管内の野生鳥獣による農作物被害状況について（令和3年度）

令和3年度の野生鳥獣による農作物被害状況について、都道府県からの報告を基にして、全国の被害状況を取りまとめました。（都道府県は、市町村からの報告を基に被害状況の把握を行っています。）

詳しくはこちら（近畿農政局ホームページ）
<https://www.maff.go.jp/kinki/press/keikaku/shigen/221201.html>

全国の結果はこちら（農林水産省ホームページ）
<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/tyozyu/221202.html>

◆令和4年度（2022年度）「南極海鯨類資源調査」を実施します

令和4年度においても、南極海における鯨類の非致命的調査である、「南極海鯨類資源調査（JASS-A）」を実施します。

詳しくはこちら（水産庁ホームページ）
<https://www.jfa.maff.go.jp/j/press/kokusai/221205.html>

2. お知らせ

<表彰>

◆「第6回インフラメンテナンス大賞」の受賞者を決定しました

総務省、文部科学省、厚生労働省、国土交通省、経済産業省、防衛省とともに、社会資本のメンテナンスに係る優れた取組を「第6回インフラメンテナンス大賞」として表彰しています。

この度、「第6回インフラメンテナンス大賞」の農林水産大臣賞等が決定しましたので、発表いたします。
なお、表彰式は令和5年1月13日（金曜日）に開催する予定です。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）
<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/sekkei/221205.html>

<募集・案内>

◆令和4年度「和食オンラインセミナー」の開催及び参加者の募集について

平成25年に「和食；日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録され、今年、「京料理」が登録無形文化財に登録されました。

和食は海外でも注目されていますが、食の多様化や家庭環境の変化等により、伝統的な食文化の継承が難しくなっています。

今回のセミナーでは、和食に欠かせない「酢」に焦点を当て、「和食と酢」についての関わりや食文化を学ぶ基調講演とパネルディスカッションを令和5年1月24日（火曜日）にWebで開催します。参加申込みは令和5年1月20日（金曜日）まで受け付けています。和食や食文化に興味・関心のある多くの方々のご参加をお待ちしております。

詳しくはこちら（近畿農政局ホームページ）
https://www.maff.go.jp/kinki/press/keiei/tiiki_syokuhin/221209.html

◆「グリーンな栽培体系シンポジウム」の開催について

「環境にやさしい栽培技術」と「省力化に資する先端技術等」を組み合わせた「グリーンな栽培体系」の取組や販路拡大に向けたシンポジウムを令和5年1月25日（水曜日）に開催します。グリーンな栽培体系の取組の紹介や、独自の基準で取り組んでいる農産物等における課題や仕入れ、販売動向の変化についての講演のほか、生産、流通、消費など各分野の有識者によるパネルディスカッションを実施いたします。参加申込みは令和5年1月13日（金曜日）まで受け付けています。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）
<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/gizyutu/221207.html>

◆寒い時期に栄養たっぷりの牛乳料理を食べませんか？

農林水産省や酪農・乳業業界、牛乳でスマイルプロジェクトの参加メンバーは、牛乳の

摂取量が少なくなりがちな寒い時期にあたたかい牛乳料理を広めるなど、様々な方法を通じて摂取を促すことで、健康的な食生活をサポートしてまいります。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

https://www.maff.go.jp/j/press/chikusan/c_gyunyu/221129.html

◆「おいしい食べきり」全国共同キャンペーン開始

消費者庁、環境省及び全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会と連携し、令和4年12月から令和5年1月まで、外食時「おいしい食べきり」全国共同キャンペーンを実施しています。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/recycle/221201_2.html

◆EPA（経済連携協定）を利用するための原産地証明書が取得しやすくなりました！

EPA特恵税率を利用して日本産品を輸出するためには、輸出業者は、日本商工会議所から、輸出産品が日本原産であるとの原産品判定を受けて、原産地証明書の発給を受ける必要があります。
この原産地証明書の発給手続が、青果物輸出について簡素化されました。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/keizai/221206.html

3. フォトレポート

◆近畿農政局管内で頑張る生産者・事業者の方々の紹介、近畿農政局のニュースなどをホームページで写真により紹介しています。

◇滋賀県高島市 全国棚田（千枚田）連絡協議会

高島市で第27回全国（千枚田）棚田サミット開催

<https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/otsu/photo/20221110.html>

◇京都府南丹市 有限会社日吉ファーム専務取締役 藤堂祐士さん

大規模養豚農家の後継者となり、良質でおいしいブランド肉の生産・販売！

<https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/kyoto/hiyoshifarm220912.html>

◇京都府精華町

「せいか祭り2022」に出展し「みどりの食料システム戦略」をPRしました

<https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/kyoto/seikafestival221120.html>

◇京都府京都市

京都府農林水産フェスティバル表彰式典－京都府の農林水産業に功績のあった方を表彰－

<https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/kyoto/nourinsuisanfes221126.html>

◇京都府京田辺市 さんさん山城

障害者が活躍できる居場所を作り、地域に根ざした農福連携の取組を実践！

<https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/kyoto/sansanyamashiro0929.html>

◇京都府京丹波町 梅原眞さん

「黄綬褒章」受章者が表敬訪問されました

<https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/kyoto/Hyoukeihoumon221125.html>

◇京都府久御山町 株式会社しんやさい代表取締役 石崎信也さん

障害者を積極的に受け入れ、障害者の立場に立った農福連携の取組を実践！
<https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/kyoto/shinyasai20220929.html>

◇兵庫県神戸市 兵庫県畜産協会
令和4年度堆きゅう肥共励会の表彰式が行われました
https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/hyogo/p_repo/2022/20221117.html

◇兵庫県加古川市 兵庫県立農業高校・オイシス・東播磨県民局・JA兵庫南
【産官学連携】東播磨の地域食材（大麦）を活用した商品開発
https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/hyogo/p_repo/2022/20221111.html

◇兵庫県三木市 JAグループ兵庫・クボタ
JA&クボタ転作サポート農機フェア2022に参加しました
https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/hyogo/p_repo/2022/20221201.html

◇奈良県葛城市 寺田農園株式会社
農業が好きだから、ピンチを乗り越え新たな挑戦！
https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/nara/photo_2022/report_20221201.html

◇和歌山県白浜町 キミト☆ミライ・わかやましらはま農家
ニーズだけでなく、互いの思いが実を結んだ農福連携
<https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/wakayama/photo/img/202211noufukurenkei/noufukurenkei.html>

◇和歌山県紀の川市 よけそ農園・和歌山電鐵
「よけそ農園」のミカン、和歌山電鐵が販売開始（今年で2回目）に先立ち、たま神社にミカン奉納
<https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/wakayama/photo/img/202211ensenmikanhounou/ensenmikanhounou.html>

◇和歌山県印南町 真妻わさび振興協議会
「真妻わさび発祥の地」としてわさび田を復興し守っていききたい
<https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/wakayama/photo/img/202212madumawasabi/madumawasabi.html>

◇和歌山県和歌山市 花王株式会社・社会福祉法人きのかわ福祉会ふるさとファーム
「循環型食品リサイクル」の取組で企業と福祉作業所が連携！
<https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/wakayama/photo/img/202212kaoukabusikigaisya/kaoukabusikigaisya.html>

◇京都芸術大学・龍谷大学
「食から日本を考える。NIPPON FOOD SHIFT FES. 東京 2022」で京都芸術大学と龍谷大学が取組み発信！
<https://www.maff.go.jp/kinki/photo/kekka/221125.html>

◇龍谷大学
「食から日本を考える。NIPPON FOOD SHIFT FES. 九州2022」に龍谷大学農学部が取組み発信！
<https://www.maff.go.jp/kinki/photo/kekka/221128.html>

◇兵庫県小野市 公益社団法人ひょうご農林機構
インボイス制度の説明会が開催されました
https://www.maff.go.jp/kinki/photo/kekka/221208_invoice.html

◇大阪府東大阪市 東大阪大学短期大学部
「食品の安全・安心」について講義
<https://www.maff.go.jp/kinki/photo/kekka/221129.html>

◇京都府京都市

「みどりの食料システム戦略」に関する生協と生産者との意見交換会を実施しました
<https://www.maff.go.jp/kinki/photo/kekka/221117.html>

◇京都府京都市

京の食文化を次世代の食育につなぐ「料理&トークショー」を開催しました
<https://www.maff.go.jp/kinki/photo/kekka/221130.html>

◇京都府京都市 近畿米粉食品普及推進協議会

米粉関連のパネル展示、米粉パンを販売しました
<https://www.maff.go.jp/kinki/syokuryo/syokaku/221206.html>

◇奈良県宇陀市 宇陀市

宇陀市が「オーガニックビレッジ」を宣言ー局長が基調講演ー
<https://www.maff.go.jp/kinki/photo/kekka/221206.html>

4. BUZZMAFF（ばずまふ）

◆近畿の「BUZZMAFF（ばずまふ）」

職員自らが、農林水産物の良さや農林水産業、農山漁村の魅力を発信するプロジェクトです。

11月29日（火曜日）、「となりの近畿_漬物会の重鎮が語りつくす！PART2」が公開されました。

詳しくはこちら（近畿農政局ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/kinki/photo/kekka/video/b10.html>

5. 統計情報

◆作物統計調査 令和4年産びわ、おうとう、うめの結果樹面積、収穫量及び出荷量

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kekka_gaiyou/sakumotu/sakkyou_kajyu/biwa_momo_ume/r4/index.html

◆作物統計調査 令和4年産うめの結果樹面積、収穫量及び出荷量（和歌山県、奈良県）

～和歌山県の収穫量は前年産に比べ5%減少～

令和4年産うめの結果樹面積、収穫量及び出荷量について、以下のとおり和歌山県及び奈良県の結果を取りまとめました。

調査結果の概要

1. 結果樹面積 結果樹面積は、和歌山県が4,880ha、奈良県が280haで、それぞれ前年産並みとなりました。

2. 収穫量及び出荷量 収穫量は、和歌山県が6万4,400t、奈良県が798tで、前年産に比べそれぞれ3,100t（5%）、642t（45%）減少しました。出荷量は、和歌山県が6万2,200t、奈良県が762tで、前年産に比べそれぞれ3,000t（5%）、618t（45%）減少しました。なお、和歌山県の収穫量は昭和40年産から58年間連続全国第1位となっており、全国の67%を占めています。

詳しくはこちら（近畿農政局ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/kinki/toukei/toukeikikaku/yotei/2022.html#1130>

∞ * 編集後記 * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞

いつの間にか12月になりました。年々1年が短くなっていくように感じるのですが、年を取ると時間が経つのが早く感じる現象を心理的に説明したものを「ジャンーの法則」といって、生きてきた年数によって一年の相対的な長さが小さくなることで、時間が早く感じるということらしいのですが、ほかにも諸説あるようです。あと3週間ほどの今年を有意義に過ごしたいものですね。

■ □ ■

☆配信停止、メールアドレス等変更には
御登録いただいたメールアドレスとパスワードが必要です。
パスワードをお忘れの場合はパスワードの再発行をお願いします。
☆配信中止・配信メールアドレスの変更・バックナンバーの閲覧は、
⇒ <https://www.maff.go.jp/kinki/pr/mmg/index.html>

編集・発行：近畿農政局 企画調整室
〒602-8054 京都府京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町
電話：075-451-9037（直通） FAX：075-414-9060

■ □ ■